

2005年 8月24日 12時21分

質 問 書

○質問書に関するお問い合わせ及びご回答（FAXまたはe-mail）は下記までお願いいたします。

DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55 ほくろうビル5F

TEL: 011-219-5687 FAX: 011-219-5688

e-mail: info_hokkaido@dpi-japan.org <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>

1. 今回、廃案となった「障害者自立支援法案」を厚生労働省は、臨時国会で、再提案すると明言していますが、採択の際にあなたは、賛成しますか、反対しますか。

- ① 賛成する
 ② 反対する
 ③ 修正が行われれば賛成する →その場合の修正内容

所得保障制度の確立、移動の保障、重度障がい者の
 長時間介護サービスの保障

2. 「障害者自立支援法案」の最大の焦点となった「応益負担（定率負担）」について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
 ② 導入には反対
 ③ その他 →その内容

障がい者福祉においても将来的には介護保険サービスの活用を検討しており、その意味での定率負担導入はあり得る。ただし、障がい者に定率負担を課する場合は、その負担に耐え得る所得保障制度の確立が不可欠。

3. 自立支援法案では、障害程度区分の判定により、介護やグループホーム、日中活動の場など、利用できるサービスの種類や量が制約される可能性があります。その点についてどのようにお考えですか

- ① 財源不足であるため制約すべきである・制約はやむを得ない
 ② 制約を行うことには反対
 ③ その他 →その内容、特に考えておられる内容

2005年 8月24日 12時21分

4 自立支援法案では、精神障害者通院医療費公費負担制度、更生医療及び育成医療への利用者負担の導入について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

22x2 医療を必要とする者の範囲、自己負担の取り方を検討する。

5. 小泉首相は来年度予算の概算要求基準について、社会保障費を2200億円圧縮するよう財務大臣に指示を出しました。あなたは社会保障費の圧縮について、どのようにお考えですか。また、社会保障の財源をどこに求めるべきとお考えですか。

- ① 構造改革路線に基づき圧縮すべきである・圧縮はやむを得ない
- ② 増額すべきである
- ③ その他 →その内容

社会保障費の財源として、今考えているもの

現行制度の無駄を徹底的に洗い流すことにより生じる財源を充てます。また、国民の信頼を得られるような明快な制度設計と将来展望を提示した上で、必要不可欠な財源を生み出すことには用途を限定して税負担をお願います。

ご協力、どうもありがとうございました。

氏名	仲野ひろ子
選挙区	北海道第9区
所属	民主党